



## 令和6年度学力向上に係る学習会より（概要）

### 1 こんな授業研究会になっていませんか？

- (1) ×やたらと長い授業者の言い訳…「事実の提供者」である。
- (2) ×印象のみで褒め合う…いつ何を見たのか。
- (3) ×授業の事実が手元にない…授業で起きた「ドラマ」をスルー。
- (4) ×子どもの固有名が出ない…授業で子ども理解・生徒指導。
- (5) ×授業者がズタズタにされる…「良い⇔悪い」「～すべきだ」議論。
- (6) ×論点が焦点化されない感想交流…協働のはき違え。

### 2 自校の研究推進について。どこに〈つまずき〉が？

テーマの設定 ➡ 授業化の視点 ➡ 学習指導案 ➡ 期待する姿（評価規準）  
➡ そのための手立て（授業） ➡ ◎検証（大切！） ➡ まとめ（研究紀要冊子）

### 3 求められる学力・学習像の確認・共有

- ・実際にその知識・技能を使えるか（具体的な相手・場面・状況下で）。
  - ・教科共通のコンピテンシーの確認。
  - ・教科学習の追究の過程の手段として…関係づける、理由づける等、深めていくことが大切。
- ◎授業を相互に見合うことが大切…〇〇の仕方を身に付けさせる。

### 4 ポイント

- (1) 求める**授業観**、**教育観**、**人間観**を校内で共有する。➡**未来の留学生**に必要な力をつける。
- (2) **教科の知**を活用して目的・状況を解決する**単元**として、授業を**デザイン**する。
- (3) **構想**時に「**関係づける**」場面を埋め込む。×実施後に**後付け**しない。…**明示的**な指導に
- (4) 「**関係づける**」ことで個が**考えを創る**場を保障する。※**関係づけ方**を教える  
例：田鶴野小（選択）、中筋小（仮定）、小坂小（類推）、豊岡小（関連づける）
- (5) 「**関係づけ**」の「**ズレ**」について**協働**で吟味する。※**深まる契機**として～**探索的**な対話  
➡関連づけることがゴールではなく、スタート。異質な他者の考えを重ね合う。
- (6) **教科のねらい**に接近させる。（＝深まりの方向）※期待する姿（**評価規準**）の設定
- (7) 「**深まり**」の**質**は、指導の**経過**の中で捉える。※**質的学力**が見える力量を。
- (8) 45分（50分）を**ひとつの物語**として捉える。※**固有のドラマ**の存在（試行錯誤と成長の軌跡）
- (9) **具体的事実**を通して語る ※その事実を**私はこう見た解釈**の重ね合い
- (10) 実践の中から**意味**を見出す歩み ※**機能的**に研究を推進する
- (11) **イメージワード**に終始しない研究を。※**教育のプロ**として力をつける（見える）力量

### 5 各校での実践において

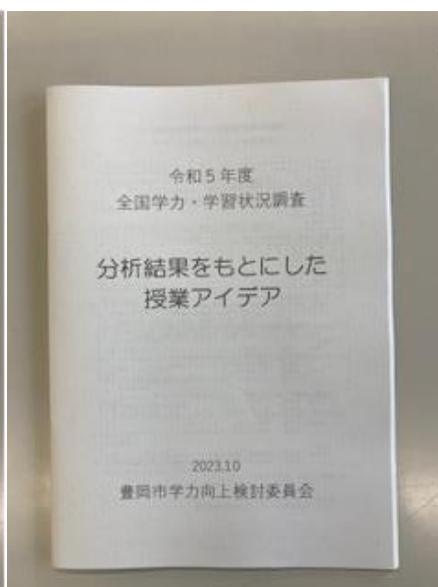
- ・授業研…一つの固有の物語として捉える。市内の素晴らしい実践の共有を！例：五荘小途中で起こった事柄をみとる観（物語の中で具体的事実の意味が見える教師の力量）を磨く必要がある。学びの深まり（質）をとらえる力量を！深まるための働きかけ方を探る。

◎**具体的な子ども（教師）の姿**を「わたし」はどう見たか。

◎**なぜ、「わたし」はそう見たのか。**◎**他の見え方はできないか。**

◎**その姿は何が原因していたのか。** ※**鑑識眼を鍛える…学校の先生しか見えないもの**

授業づくりにぜひご活用ください！



テーマに沿った授業づくりで  
より実効性のある毎日に！

昨年度の課題を効果的に今年度  
の校内研修につなぎましょう！

